

1 研究主題

主題 「組織力を高め、人を育てる学校経営」

視点 (1) 主に組織力を高めるためのリーダーシップはいかにあるべきか
(2) 主に人材を育成するためのリーダーシップはいかにあるべきか

2 研究推進の概要

- (1) 第16次研究推進計画の3年次(まとめ)として研究に取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画をしていた3カ年計画通りには推進できなかったが、計画の修正や変更(内容精選、規模縮小)することで、充実した研究を進めることができた。
- (2) 年度当初に「研究の手引き」を作成し、研究のねらいや推進方法を具体的に示し、共通理解を図った上で計画的に研究を推進した。
- (3) 町村校長会ごとに研究主題に沿って研究に取り組み、管内4つの「ブロック研究会」でその成果や課題を発表・協議し、研修を深めた。
- (4) 「後志小中学校長会研究大会」を開催(会同：半日日程)し、視点(1)・視点(2)についてそれぞれ1町村が提言を行い、全体・グループで協議を行った。
- (5) 16次研究(3年間)の活動内容や研究の成果と課題を整理し、研究のまとめとして「研究紀要」を作成した。

3 研究の成果と課題

【成果】今年度は、新型コロナウイルスの感染状況の推移を見ながら、ブロック研究会、後志小中学校長会研究大会共に、会同して開催することができた。

その中で、後志小中学校長会研究大会においては、令和3年度から内容精選、規模縮小(半日日程)して開催したが、これまでの課題を踏まえて、「研究視点の焦点化」「取組内容の明確化」「提言方法・内容の共通化」等、改善に向けて取り組んだことで、十分に成果が得られ、第17次研究につながる有意義な大会となった。

会員の積極的な参加により、充実した提言内容や深い研究協議が行われ、研究の目的である「学校の教育力の向上(教育の質を高める)」につながる実効性のある共同研究となった。

【課題：今後に向けて】令和5年度は、第17次研究推進計画の1年次となる。研究主題においては、「組織力を高めること」と「人を育てること」は学校経営そのものであり、どのような学校課題の解決においても、「課題解決のためにどのように組織を動かすか」「どのように人を育てるか」という視点で学校経営を行うことが重要であることから、第17次研究についても、第16次研究を継承しつつ、さらに深化、充実させるものとして、引き続き「組織力を高め、人を育てる学校運営」と設定する。

また、感染症への対応や働き方改革の視点から、会議等のスリム化やオンライン化、電子データによる資料等のやりとりなどを行い、時間短縮や経費削減、業務改善や負担軽減などが定着しつつある。これらの取組については、従来の取組にバランス良く取り入れることで、効果的で効率の良い研究体制を構築しながら、持続可能な研究活動を推進していくことも重要である。

1 研究主題

- | | |
|----|--|
| 主題 | 「組織力を高め、人を育てる学校経営」 |
| 視点 | (1) 意図的に全体を導くためのリーダーシップ (2) 計画的に組織・システムを運用するためのマネジメント |

2 研究主題設定の趣旨

第16次研究(R2・R3・R4)は、コロナ禍の影響により、ブロック研究会や各種打ち合わせを書面開催や、オンライン開催にするなど、さまざまな工夫をしながら研究を進めてきた。その中で、後志小中学校長会研究大会についても、令和3年度から半日日程に変更して開催したが、内容を精選することで十分に成果が得られ、第17次研究につながる有意義な研究大会となった。

また、研究主題においては、「組織力を高めること」と「人を育てること」は学校経営そのものであり、どのような学校課題の解決においても、「課題解決のためにどのように組織を動かすか」「どのように人を育てるか」という視点で学校経営を行うことが重要であることが、第16次研究において確認された。そこで、第17次研究についても、第16次研究を継承しつつ、さらに深化、充実させるものとして、引き続き「組織力を高め、人を育てる学校運営」と設定する。

3 研究内容

- (1) 第17次研究推進計画《1年次》の研究推進(※3年次計画)
- (2) 組織的な研究推進のための研究組織と研究体制の確立
- (3) 町村・ブロック・管内全体の系統性のある研究の推進
- (4) 道小・道中の研究内容との関連性を重視した研究の推進
- (5) 全国・全道研究大会の提言のためのプロジェクトチームの設置

4 研究推進計画

- (1) 「研究の手引き」「研究紀要」の発行
- (2) 町村校長会単位の研究推進
- (3) ブロック研究会の開催[9～10月]
- (4) 管内研究大会の開催[令和5年10月24日(火)：倶知安町]
- (5) 全道・全国大会への積極的参加
- (6) プロジェクト活動の推進

5 研究組織

- (1) 研究組織
 - ① 管内校長会研修部
 - ② ブロック研究推進委員会
 - ③ 町村校長会
- (2) ブロック
 - 南ブロック (島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町)
 - 山麓ブロック (真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町)
 - 岩宇ブロック (岩内町、泊村、共和町、神恵内村)
 - 北ブロック (積丹町、仁木町、赤井川村、古平町、余市町)